

ものづくりの現場に留まらず、 “調達”や“製品”を含めた、環境負荷軽減を追求しています。

担当役員からのメッセージ



常務執行役員
福井 裕之

アルミニウムはリサイクルしやすいことから“環境にやさしい”素材として注目されてきましたが、近年では環境規制強化にともなう自動車軽量化ニーズに応える素材としても期待が高まっています。このようにアルミニウム需要が拡大するなか、UACJは研究開発部門を含めたグループ横断した体制で、さまざまな部材をアルミニウムで提供しています。このことは、2018年度からスタートした中期経営計画の重点施策として位置づけ、注力していきます。

また事業活動においても、北米で稼働開始したスクラップ炉により、ほとんどの原材料をリサイクル材でまかなうことが可能になるなど、取り組みは進んでいます。

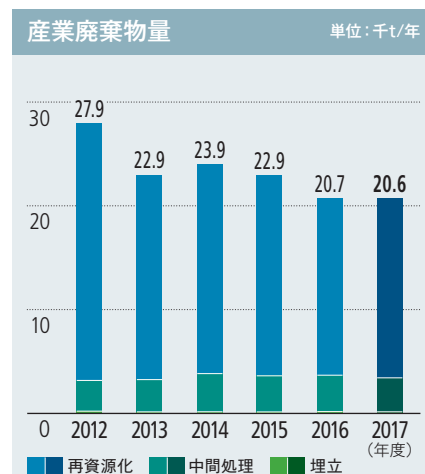
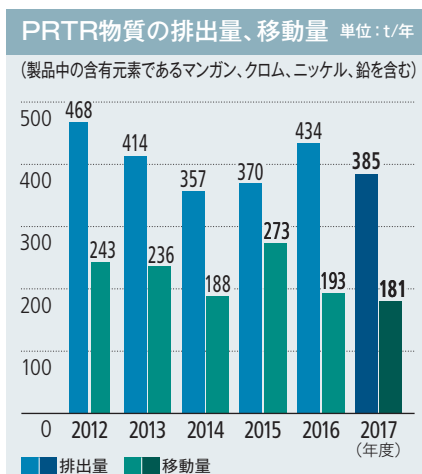
世界トップクラスのアルミニウム企業として、多様な特性を持つアルミニウムを活かし、生産工程および製品を通じて環境負荷軽減に努め、社会に貢献していきたいと思っています。

製造における環境配慮

CO₂削減や化学物質管理などを掲げる環境基本方針のもと、主要テーマごとに管理目標を毎年度設定し、環境負荷軽減にグループ全体で取り組んでいます。環境負荷の大きい製造段階では、グループ横断的な取り組みとあわせて、拠点ごとにそれぞれの課題を踏まえた取り組みを進めています。

地球温暖化防止

UACJは、大量の電気を使用する精錬工程を事業領域としていないものの、主要事業である圧延工程において、電気をはじめとしたエネルギー消費が、製造工程の環境負荷として大きなウェイトを占めるため、エネルギー消費の削減に向けて、各拠点で生産効率向上や燃料転換などを推進しています。2017年度



集計範囲：UACJ(名古屋、福井、深谷、日光)、UACJカラーアルミ、UACJ押出加工名古屋(名古屋、安城)、UACJ押出加工小山、UACJ押出加工群馬、UACJ押出加工滋賀、UACJ鋳鍛、UACJ製箔(滋賀、野木、伊勢崎)、UACJ銅管



のUACJグループのCO₂排出量および単位生産量当たりの排出量は、生産量が前年度より増加したため微増となりました*1。

化学物質汚染防止

UACJは生産活動にともなう化学物質の排出において、法令等の基準値よりも厳しい自主基準を設け、その遵守に努めています。またPRTR法*2対象物質については、法令に従い、適切に把握・届け出を行うとともに、その使用削減に努めています。

そうしたなか2017年度は、UACJ銅管の伸銅所において排水基準値を超過する事故が発生しました。池に生えた藻が水中のCO₂を消費したことが原因ですが、河川への影響はありませんでした。現在は再発防止のため、原因となった藻の発生を抑える対策を講じています。

産業廃棄物の削減

UACJはゼロエミッションの達成を目標に、産業廃棄物の削減に努めており、特に廃棄物の多い拠点では「産廃分科会」を立ち上げ、その削減と処理の適正化に向けた情報共有を進めています。2017年度は、主要拠点における廃棄物量が前年度比で減少となりました。

※1 電力の排出係数を一定にした場合

※2 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律

TOPIC

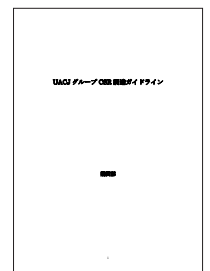
環境負荷軽減に貢献する リサイクル炉が稼働

世界有数の飲料缶の消費国であるアメリカの生産拠点TAAのローガン工場では、製造するアルミニウム缶材の原材料の約80%がリサイクル材です。世界の缶材需要が高まり続けるなか、より高水準なリサイクルを実現するため、2018年度には同工場の鋳造炉を増強。スクラップ材の溶解能力を強化することで、リサイクルの推進に貢献しています。

調達における環境配慮

UACJは、サプライチェーン全体で環境などに配慮していくことを明記した「UACJグループ CSR調達ガイドライン」のもと、環境負荷の小さい物品調達をはじめとしたCSR調達に取り組んでいます。

原材料および副資材の調達については、ISO14001に基づき、仕入先様に特定化学物質の含有に関する調査や特定化学物質不使用証明書の提出を求めるとともに、より含有量の少ない代替品への切り替えに取り組んでいます。また、事務用品についてもグリーン購入法適合品などへの切り替えを進めるとともに、納入時に使用される梱包材の削減にも注力するなど、環境負荷の小さい調達を推進しています。



UACJグループ
CSR調達ガイドライン

製品における環境配慮

UACJは、「あるべき姿」として掲げるように、製品を通して環境課題の解決に貢献したいと考えています。たとえば、従来と同等の機能をより軽量のアルミニウム素材で提供することで、自動車などのお客様の製品が軽量化され、燃費向上・CO₂排出量削減が実現します。

仕上げ工程の洗浄液や、缶材やカラーアルミ用の塗料などを、より環境負荷の少ないものに転換するなど原材料の環境負荷軽減も図りながら、アルミニウムの特性を活かした製品で環境に配慮しています。

改善推進目標

製品の開発・改良	環境・社会への貢献
リサイクル性に優れた缶材の開発と実用化の推進	缶体重量軽量化による省資源化・コスト削減
高性能伝熱管の開発と実用化の推進	熱交換性能向上による機器の小型化・省資源化
欧州におけるCO ₂ 冷媒化に備えたカーエアコン用アルミニウム材料の開発・改良	車体重量軽量化による省資源化・燃費改善 CO ₂ 冷媒採用による地球温暖化対策の推進
ハイブリッド自動車用アルミニウム材料の開発・改良	車体重量軽量化による省資源化・燃費改善